

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 8 ACTA UROLOGICA JAPONICA August 1986

# 泌尿器科紀要

第32巻 第8号 1986年8月

原発性上皮小体機能亢進症の臨床的検討	後藤健太郎・ほか	1075
尿路上皮腫瘍患者および健康人における N-acetyltransferase phenotype についての検討	曾根 正典	1085
尿酸カルシウム結石における weddellite の whewellite への変化に関するX線学的検討	戸塚 一彦・ほか	1093
経皮的腎尿管切石術の経験	戎野 庄一・ほか	1099
腎不全を伴った前立腺肥大症患者に対する手術経験 —術前および術後の管理を中心として—	平野 章治・ほか	1105
LH-RH analog による前立腺癌の治療	布施 秀樹・ほか	1113
<i>Chlamydia trachomatis</i> の FITC 標識モノクローナル抗体 (MicroTrack™) を用いた尿道炎患者からの検出	大川 光央・ほか	1121
ラット実験的尿酸結石症におけるピルビン酸塩と 漢方製剤の結石形成抑制作用の比較(英文)	小川 由英・ほか	1127
興味ある経過をたどった長期透析患者の腎癌の1例	江藤 弘・ほか	1135
クローン氏病による膀胱腫瘍を思わせた膀胱腸瘻の1例(英文)	山本 雅憲・ほか	1141
残胃癌による転移性膀胱腫瘍の1例	宮崎 治郎・山中 望	1145
副睾丸の精子肉芽腫症の1例	高山 智之・ほか	1149
精子形態の臨床的研究:Testsimplets® slide の使用経験	岩本 晃明・ほか	1151
急性尿道炎に対する Norfloxacin 短期間投与の臨床的検討	木原 和徳・ほか	1157
淋菌性尿道炎に対する Norfloxacin の臨床効果	三木 正也・ほか	1161
複雑性尿路感染症に対する Norfloxacin の臨床的検討	村瀬 達良・ほか	1167
男子不妊症に対する Methylcobalamin (CH <sub>3</sub> -B <sub>12</sub> ) と Clomiphene citrate の併用療法の経験	磯山理一郎・ほか	1177
淋菌感染症の疫学的・治療学的研究 —Enoxacin による検討—	熊本 悦明・ほか	1185
男子非淋菌性尿道炎の治療学的研究	熊本 悦明・ほか	1203
慢性前立腺炎の治療学的研究	熊本 悦明・ほか	1213

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
  2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文又は英文とする。
    - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
    - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
      - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
      - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
    - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
    - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C, pH などとする。
    - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、
- 編集委員 石神 夔次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩  
園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主幹)
- トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>1,3~10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
  - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
  - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
  - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
    - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
    - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
    - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
  4. 別刷
 

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する